

おお大勝利

平成 31 年度 / 令和元年度 山東サッカー部報第 6 号 (5 月 28 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2A 勝利し、県総体に向かう

5 月 25 日 (土) Y2A 第 6 節酒田東高校戦が山形中央高校 G にて行われました。今年は 10 連休があったおかげで、例年よりリーグ戦の進みが早く、県総体前に 6 節消化。Y1 なんかは 7 節消化で、県総体前に折り返すことができた。多くの選手が Y1 第 7 節 (前期終了) で高校サッカーを引退する山東にとって、**今年は引退が早まる**ということ。相手の酒田東はこれまで Y2A で苦しい戦いを強いられているが、**昨年の進学校大会の山東 - 酒東戦では 5 点くらい入れられて、山東が大敗している**相手。昨年の山東が情けないくらい弱かったのは間違いないが、酒東の攻撃力には目を見張るものがあった。こちらとしては、雪辱戦の意味合いがあった。もちろん、そんな因縁の話とは別に、前期のうちに (3 年生が引退する前に) 勝ち点を稼いで残留を確定させたいという思いや、県総体前に景気良く勝って弾みをつけたいという思いがある。

試合前、**清野総監督 (後援会名誉会長)** とベンチで話になる。「酒東と公式戦で当たった記憶、ないですね〜」。そう、私も、県総体・選手権・県新人・県リーグを通じて、酒東と当たった記憶がない。**山東 14 年目で、もしかしたら初対決かもしれない**。いや、かなり前に当たったことがあるかもしれないが、少なくともここ最近はない。それを酒東 9 年目の相手の顧問にも確認し、「当たってないね〜」と話になった。上述の清野さんと**工藤さん、後藤報道局長の「いつものお三方」**は今節もいらっしゃる。保護者の方も、強い日差しの中の¹、多数集まって下さった。

試合が始まると、どっちつかずの展開。山東の方がボール保持率が高かった記憶があるが、酒東右サイドの選手にかき回され、決して安全な試合展開じゃない。「やはり、安定した力がないな〜」と思わされた前半 14 分、M リーグや地区総体は FW で出た **Mr.ポリバレント 2 年左 SB ユッキーことツノダ**が、前線にロングパスを送る。「だから、そんな単純な攻撃ではダメだって」と思ったが、そのパスが**個性派俳優 3 年 FW ウエノ**にピタリを渡る。しかも、ウエノ、左後方から来たそのボールを左足のももで、**ピタリ! とトラップ**。これにはベンチ一同驚き。「ウエノじゃないみたい」、これ誉め言葉ですよ。そして、GK の頭越しにループシュート。いったんバーに当てといて、それを詰める**一人ワンツー**でゴールゲット。**すごい、素晴らしい、巧い選手みたい!** 巧い選手も演じられるなら、こんなすごいことはない。展開がどっちつかずだっただけに、ありがたい得点となる。その後、山東やや有利の試合展開の中、前半 43 分に、またもや**ユッキー**が先のアシストと同じ形からロングキック。再び「何してんの」とベンチで思って観ていると、そのボールが、**前**

¹ この日は、11:00 キックオフの第一試合山形中央 B 対羽黒 B とともに、13:30 キックオフのこの試合も前後半それぞれの中間の時間で飲水タイムが設けられました (それぐらい暑かったということ)。

がかった相手 GK の頭越しに決まる超ロングシュートとなる。これまたフラインシュート。「よく狙っていたな～」と驚く得点となる。**2対0**で前半折り返し。

ハーフタイムでは、「2対0が一番危ないってよく言うから、気を付けようぜ」などの会話を選手間でしている。頼もしい。

後半が始まると、前半は弱気なプレーで監督の檄を一身に受けていた**2年左 SH ナカノ**がカットインして、チョンチョンと二度ボールを触った後すぐ右足を振りぬく。それが意図していたかどうかは別として**GKのタイミングずらすシュート**となり、**後半開始4分で3点目ゲット**。ナカノは得点を決めたのに全然喜んでいなかったのは、なぜなんだろうか。もっとピッチ内で喜怒哀楽を出せる選手になれば、もっと選手として伸びる、とは言っておきましょう。今年の欧州のクラブ No.1 決定戦のチャンピオンズリーグでは、準決勝2試合でともに3点差をひっくり返す4得点による逆転勝利があったので(と言っても2戦目での逆転だが)、3得点で勝負あり、とは言えないが、ハーフタイムで気合を入れ直した相手にとっては落胆せざるを得ない追加点となったことは間違いない。その後も山東有利の試合展開であったが、私がよく観ていないときに**2年 CB ヤグチさん**が相手を倒してしまい、PKを与える。それを確実に決められ、**3対1**。このPK、**3年 GK イグラ**、コースも読めてて反応も悪くなく、惜しかった。相手は、「さあここからだ」と思っただろうが、次の得点も山東だった。とうとう**膝神ことアキシン**が、Y2A 第4節(4月30日)での膝の故障からピッチに復帰。そして軽い感じで、ユッキーの折り返しを左足で合わせると、良いコースに飛び、ダメ押しとなる4点目を得る。「アキシン、ナイスシュート！」というより、「ツノダ、ナイスアシスト！」という一連のプレーではあるが、ともかくも**陵南ホットライン**を印象付けた。このユッキーのアシストは、左サイドで倒されるも立ち上がりドリブルを続けたナイスプレーからの折り返しであり、**簡単に転んでFKを得ようとする選手が多い今の山東**にとって見本となるプレーであった。**結局4対1で山東の勝利**。進学校大会からの山東の伸びを感じさせた試合となりました。この試合、**1年生を主とする選手の応援団がとても大きな声で応援しており、ベンチでも先輩方が「すごい」と称賛していた**ことを付言しておきましょう。

さあ、いよいよ今週末からは県総体が始まります。高校サッカーの最大の大会は選手権ですが、多くの山東の選手にとって有終の美を飾るのは、IHであり、その予選の県総体。**一戦必勝は当然ですが、今週末2回勝って県総体主会期の来週(6月7日~9日)まで残りたい**。だって、(他の部の)みんなが「さあ、県総体だ」と燃えている中、サッカー部だけ敗退しているって、やっぱり嫌。普通に(嫌味ではなくて)、「サッカー部は一回戦どこと？」とか、もう敗退しているのに聞かれるし。一回戦の相手は神室産業。それに勝つと、第8シードの鶴岡東と対戦です。鶴岡東とは、2年前、3年前にも県総体で連続で当たっている。理事会での抽選の時、山東の枠は自分で引いたのですが、「鶴東のところ(山)引くんじゃないかな～」と正直思っていました。当たるところとは、なぜかしつこく当たるものなんです。ともかく、**鶴東さんと試合ができるよう、まずは一回戦勝ちたい**。応援よろしくお願い致します。

6月1日(土) 県総体1回戦 神室産業戦 @米沢 SF 東 15:30~(12時学校出発) 勝つと

6月2日(日) 県総体2回戦 鶴岡東戦 @米沢 SF 西 15:00~(12時学校出発)